

第 2 回子育て・若者支援推進本部専門委員会の検討経過について

7 月 1 日及び 7 月 2 日に第 2 回子育て・若者支援推進本部専門委員会を開催した。
議題について、各委員会で話し合った結果、下記のような意見が委員より出された。
今回の意見を事務局にて精査し、意見を踏まえた反映結果を、次回第 3 回専門委員会（8/20・8/22 開催）に提出予定である。

また、第 6 章については、第 2 回委員会にて関係課に数字の提供を依頼したため、次回素案を検討予定である。

【議題】

- (1) 次期計画第 3 章について
- (2) 次期計画第 4 章について
- (3) 次期計画第 5 章について
- (4) 次期計画第 6 章について

【意見】主に第 3 章（3-4：子ども・子育て支援の現状と課題）について議論。

子育て支援部会

- 「子ども・子育てをとりまく社会動向」の中で「児童の権利条約」と大きなものをいれているが、この計画に掲載する事業で密接に関わる「児童福祉法」、「児童虐待防止法」、「母子保健法」の記載を加えたほうが良いのではないかと。
- 「現状と課題」を記載する箇所について、「現状」の記述が不足しているのではないかと。
- 「現状と課題」を記載する箇所について、「足りない」、「求められている」という記載が多いので、これまでやってきた取組みをしっかりと書くべきではないかと。
- 「発達障害の子ども」という表現がある部分について、直接的な記述ではなく、「個々に応じた対応が必要な子ども」という表現が良いのではないかと。

さらなる充実した支援のための部会

- 女性就業率の上昇を述べる箇所は、子育て世帯の女性就業率とし、家庭における役割をさらに広げた「働き方の多様化」の表現にしたほうが良いのではないかと。
- 子育て世代が、「地域離れ」という表現があるが、「離れていく」のではなく、「孤立化」や「とけこまない」の方が表現としては馴染むのではないかと。また、「地域社会」の具体的なイメージが湧くようにした方がよく、「離れる」よりも「つながりを持たせる」等プラスの表現の方が良いと思う。
- 「現状と課題」を記載する箇所について、「課題」を記述する結びの表現に、「必要となっており」、「関心が高まっています」、「重要となっています」様々にあるが、表現により、課題なのかさえわからない表現もある。整理したほうが良いのではないかと。

子ども若者部会

- 一つのグラフについて、同じ考え方で数字を並べていない箇所がある。誤解を招きやすいので表現を工夫してはどうか。
- 「若者支援」について、ニーズ調査の「家からでなくなったきっかけ」を掲載してはどうか。
- 「生活困窮者自立支援法」はひきこもりの若者の自立支援につながるという意味でいれておくと思う。
- 「グラフの分析」と「現状と課題」がつながっていないように感じる。つながるような工夫をしてほしい。
- 「不登校」の記述がある箇所について、不登校自体が問題であるわけではないという視点で書いた方が良いと思う。また、家庭や家族も支援するという視点も入れたほうが良い。
- SDGsの具体例（ゴール）は、いくつかピックアップして掲載しているが、それでは「など」と括られたものが何なのかを、見ている側が気になってしまうので、重要なもの一つだけ掲載するのが良いのではないか。

子育てに関する生活環境部会

- 「現状と課題」を記載する箇所で、多摩市のことを記述する部分であるべきはずなのに、全国のことを述べているのは違和感がある。表現の工夫が必要だと思う。
- 今実施している取組み、現状と課題をわかる形で「現状と課題」部分は記載してほしい。
- 評価いただいている取組みは、しっかり書いた方が良いのではないか。
- 「子育て世代が地域で安心して子どもを産み育てるために必要なもの」がいくつか挙げられているが、ニーズの高い順に並べたほうが良いのではないか。